

平成29年度 第5回深川市子ども・子育て審議会

〔日時：平成29年8月24日（木）午後6時30分～7時40分〕
〔場所：デ・アイ リハビリルーム〕

出席委員：渡辺子ども・子育て審議会議長、浦山副会長、細川委員、余合委員、西山委員、
松浦委員、関委員、高橋委員、浅見委員、吉村委員、桐山委員、轡田委員
事務局：三ツ井市民福祉部長、荒井社会福祉課長、高瀬子育て支援推進室長、
横井子育て支援推進室次長、藪調査員、小山主査

計18名

欠席委員：榎本委員、笹口委員、高島委員、我部山委員、野村委員

1. 会長あいさつ

今日はいよいよ答申（素案）の段階に入った。長い間当審議会の委員をやってましたが、今回のような多方面からメンバーが集まって議論するのは初めてだと思う。

2. 議題

(1) 市立保育所の今後のあり方について

答申素案の内容について 資料1

【説明：藪調査員】答申書（素案）に基づき説明

素案に事務局で追加している事項がある、意見があればお聞きしたい。

①「ア保育の質」中「地域の保育士養成機関との連携を図ることなどを通じて、更なる保育の質の向上に努める必要がある」を追加。地域の保育士養成機関とは拡大のことである。

⇒異議なし

②「ウ地域の子育て家庭等に対する支援」中「本市の子育て支援の中核拠点として、より一層の機能強化を図れるよう、統合する保育所との併設による施設整備を図り、併設保育所との相乗効果を追求することが、本市の子育て支援にとって必要かつ重要である」を追加。

○併設の場合、職員は保育所と支援センターと兼任になるのか？

⇒支援センターは職員専任が条件になっている。配置はそれぞれの基準によることになる。

○現在2名体制で、子育てサポートなどの事務で大変だと思う、人員も強化されるのか？

⇒強化には人員増も必要と思う。それを目指している。

○是非、その内容でお願いしたい。

○主任児童委員として、ココの手伝いをしているが、職員2名では不足を感じる、人数的にも強化願いたい。

○支援センターが重要、私立の保護者なども利用している。併設に賛成。

③ 全体を通しての意見はないか。

○支援センターのこと、一般的に理解されているか

⇒これからも市民周知は入れていきたい

○子育てから離れていると、利用状況等が見えない、どんなことをされているのか？

⇒概要説明（第2回審議会の資料「市立保育所の状況」中支援センターの事業

実績掲載)

○保育士のきめ細かい要望を拾っているのか？使う人の使いやすさが重要だと思う。

⇒実際の計画の段階で、保護者・保育士の意見を聞いていきたい。

○保育士不足とよく聞くが、地元には学校があるのに？と疑問に思っていた。

⇒昨年まで約20年間正職員の採用はなかった。臨時職員だと依頼できない。

○納内と市内の人に温度差があると思う。民間になったら、子どもが少なくなったら、納内保育園がなくなるんじゃないかと保護者が不安に思っている。

⇒確かに適正配置により市内の保育所を数か所統廃合した経緯があるが、小学校区には少なくとも1箇所は保育所を設置する考えで取り進めている。

○素案に対する意見について、次回答申案により示していただき、最終調整を行います。

(2) その他

【質疑】特になし

3. その他

次回審議会開催 平成29年9月21日(木) 18時30分～